

教科:国語 単元名:まとまりを考えて書こう

学年:2年

町の「すてき」を伝えます

「たんけんほうこく文」を作ろう!

10のキーワード

・「志」をともにし「作業」を別にする

問いストーリー(単元の概要・児童への願い)

<教師のねらい>本単元は、生活科の「町たんけん」で見学・インタビューしたことを報告するために、「初め」「中」「終わり」のまとまりを考えて、時間的順序や経験した順序を意識した「報告文」を作成する単元である。

<児童への願い>

「報告文」であることを意識し過ぎるあまり、事実だけを報告するだけでは児童の思いや感情が伝わらない文章となってしまうため、見たものや訪れた先で関わった人に対して思ったこと、土地の魅力もいきいきと表現させられるような思いを持たせた活動にしたい。それを実現するために「子ども同士での読み合い」を軸とした「書き表し方の工夫のサイクル」を導入し、単元のゴールである「友達と伝え合う活動」の充実を図る。

単元計画

授業概要

1	○「学習のすすめ方」を読み、学習の見通しをもつ。
2	「町たんけんカード」を記入する →それをもとに「◆見つけたこと」「△聞いたこと」「♥思ったこと」の3つの付箋に分けて記入する。
3 ~ 4	記入した3色の付箋をもとにメモを作成する。 メモに書いたことについて二人組になって読み合い、話し合う。 →読み合いをもとに、メモを必要ならば書き直す。
5	「くみ立て表」に付箋を貼り、「初め」「中」「終わり」の文章構成を考える。 →順序を意識した構成になるように指導・助言を行う。
6 ~ 7	付箋を貼った「くみ立て表」を元に文章を書く。 →順序を表す言葉や、文末表現の書き方を意識する。
8 (本時)	書いた文章を友達と読み合い、良いところを伝え合う。 生活科で作成した動画と照らし合わせながら、こうした方がもっと良くなるなどの意見もお互いに言えると良い。
9	読み合った時の友達の意見や感想をもとにさらに直せるところは直し、発表の練習をする。
10	クラスで友達の前で発表し、学習を振り返る。

